

令和3年度 重点課題の評価

令和3年度 高岡龍谷高校アクションプラン - 1 -	
重点項目	学習活動(学習指導)
重点課題	学習習慣の確立、学習意欲向上を図る授業の推進
現 状	<p>(1) 学習意欲が低い生徒も多く、自学自習の習慣が定着していない。</p> <p>(2) 昨年度の生活実態調査において、授業以外の学習時間が1時間以上と回答した生徒は平日 28.3%、休日 33.6%と、学習時間が不足している。</p> <p>(3) 各自の進路実現に向けての学力が十分に定着していない。</p>
達成目標	平日に1時間を超えて学習する生徒の割合70%以上を目標とする。
方 策	<p>(1) 低学年より、授業の予習—授業—復習のサイクルを定着させ、自主的に学習に向かう姿勢を養う。</p> <p>(2) 適切な課題や小テストの実施によって、自学自習の習慣の定着を図る。</p> <p>(3) 生徒の学習意欲を高め、基礎学力定着に至る授業展開となっているかを検証・改善する。</p>
評価	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲の低い生徒が多い。 ・生活実態調査における学習時間は、昨年より低い値となってしまった。
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> ・自学自習の習慣の定着を図るための適切な課題等を工夫する。 ・どのような状況下でも ICT を利用した授業展開を目指す。

重点項目	進路支援（進路意識を高める進路指導）
重点課題	進路意識の高揚と適切な進路選択に向けた指導の充実
現 状	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自己の進路実現に対して様々な体験活動を通して意欲の向上につなげる必要がある。 (2) 各学年と連携をとり、学年に応じた進路意識を持たせる必要がある。
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学年に応じたタイムリーな進路指導を行い、進路決定のプロセスを早めさせる。 (2) 進学希望者の第1希望合格率85%を目標とする。 (3) 就職希望者の就職内定率100%を目標とする。
方 策	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生徒の3年間を見通した上で、進路講座やガイダンスを計画的に配置し、将来への目標を明確にするとともに、そこに向かうことの重要性を理解させる。 (2) 生徒が個々の目標に応じて自主的に学習に取り組めるよう、模擬試験や面接を効果的に実施する。 (3) 生徒一人ひとりが学校生活の節目節目に、振り返りや個々の成長を記録し、蓄積する機会を設ける。
評価	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナの影響があり、中止せざるを得ない行事があったが、効果的な指導を工夫した。 (2) 進学希望者の第1希望（出願時）への合格率は、91.3%であった。 (3) 就職希望者（学校斡旋）の内定率は、100%であった。
次年度への課題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 上級学校との連携を進め、進路意識の醸成を図る。 (2) 探究活動を通して、学習へのモチベーションへとつなげる。 (3) ポートフォリオ作成のための Classi 活用。

重点項目	社会性の育成（人間関係構築能力の向上）
重点課題	良好な人間関係を構築するための挨拶の徹底
現 状	<p>(1) 挨拶はある程度習慣化されてはいるが、徹底してはいない。</p> <p>(2) 職員室等の出入りの際の挨拶が不十分である。</p> <p>(3) 来客や、外部の人への挨拶が十分ではない生徒がいる。</p>
達成目標	生徒どうしの挨拶、教員への挨拶、職員室での入退出および外来者への挨拶をしている生徒の比率をアンケートによって調査し、挨拶をしている生徒の割合 85%以上を目標とする。
方 策	<p>(1) 生徒指導部や生徒会、部活動等と連携をとり、学校独自の挨拶運動を実施する。</p> <p>(2) 教員が自ら手本となるように積極的に挨拶を交わす。</p> <p>(3) 職員室の出入りの挨拶は、根気強く生徒に声かけをする。</p>
評 価	<p>B</p> <p>(1) 各学期末におこなう「あいさつ度チェックアンケート」の年度末結果は 83.2%であり、目標の 85%以上とはならなかった。</p> <p>(2) 内向的な生徒は、気持ちがあっても大きな声が出せなかった。</p> <p>(3) 朝の校門での挨拶も、礼儀正しいが声の小さい生徒が多かった。</p>
次年度への課題	<p>(1) 今年度の「あいさつ度チェックアンケート」の結果推移を見ると、80.8%→83.8%→85.0%と徐々に上がってきているため、校内の雰囲気をもっと明るくすることで、この目標を達成させる。</p> <p>(2) コロナ禍ではあるが、すべての教員がポジティブな姿勢を生徒に見せつけることで、挨拶を徹底させる方向に向ける。</p>

重点項目	学校生活（制服の着こなし）
重点課題	制服の正しい着こなし
現 状	新制服から6年目を迎え、かなり正しい着こなしが定着している。しかし、学校生活や行事・活動の中で、一部服装の乱れを気にしない生徒がいる。
達成目標	制服の着こなしについてチェック表を使って振り返り、達成率100%を目指す。
方 策	<p>(1) 制服着こなし講座を受講させ、制服の意義や個々の生徒が所属する学校全体への影響にも気づかせる。</p> <p>(2) 「高龍身だしなみチェック」を各学期末に実施し、身だしなみの自己管理意識を高める。</p> <p>(3) 「高龍身だしなみチェック」では、制服の着こなしだけでなく履物や髪型等トータルでの啓蒙を行う。</p>
評価	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着こなし度チェックにおいては、1学期 47.9 ポイント（満点 50 ポイント）であったが、3学期 には 48.0 ポイントにアップできた。 ・校内だけでなく、校外においても制服の正しい着こなしが徹底されている。
次年度への課題	制服を正しく着こなすために声かけ、「着こなし度チェック」を行い意識の高揚を図る。